



も り み ん だ よ り

第82号

令和8年8月5日発行

広島県 安芸太田町議会



認定こども園 あさひ
園外保育 深山峡（水あそび さわのぼり） 7月10日

安芸太田町議会
ホームページ



深山峡へ水あそび（沢のぼり）に行ったよ！
大きな岩がたくさんあったけど、みんなで
助け合ってたのぼれたよ！
水がとても気持ちよくて、楽しかったよ！



6月定例会で決まったこと!

6月定例会を終えて



安芸太田町議会議長

中 本 正 廣

今期定例議会は6月8日に開会し、6月12日までの5日間で行われ、6月9日、10日の2日に7人の議員による一般質問が行なわれました。

議案の審議では「辺地に係る公共的施設の総合整備計画の策定について」、「条例の一部改正」、「財産の取得について」、「令和8年度会計補正予算」など、合計10議案を審議いたしました結果、すべて原案のとおり可決されました。

その他では、提出のあった陳情第8号「地方財政の充実・強化を求める意見書を国に提出することを求める陳情書」については、総務常任委員会に審査を付託し、本会議の審議において全会一致で採択することに決定いたしました。

また、会期中における委員会では、各常任委員会のほか、地方創生調査特別委員会、議会改革調査特別委員会、災害対策調査特別委員会が各委員長の下、開催されました。

令和8年第4回定例会 議案採決結果

第4回定例会は令和8年6月8日～6月12日の5日間で行われました。

議案番号	件 名	採 決
承認第4号	専決処分の承認を求めることについて（施設管理瑕疵による車両損傷事故の損害賠償）	全会一致
議案第34号	辺地に係る公共的施設の総合整備計画の策定について	〃
議案第35号	安芸太田町家庭的保育事業等の整備及び運営に関する基準を定める条例及び安芸太田町乳児等通園支援事業の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部改正について	〃
議案第36号	財産の取得について（小型動力ポンプ積載車）	〃
議案第37号	令和8年度安芸太田町一般会計補正予算（第2号）	〃
議案第38号	令和8年度安芸太田町国民健康保険事業特別会計補正予算（第1号）	〃
議案第39号	令和8年度安芸太田町後期高齢者医療事業特別会計補正予算（第1号）	〃
議案第40号	令和8年度安芸太田町介護保険事業特別会計補正予算（第1号）	〃
議案第41号	令和8年度安芸太田町介護サービス事業特別会計補正予算（第1号）	〃
議案第42号	令和8年度安芸太田町下水道事業会計補正予算（第1号）	〃
陳情第8号	地方財政の充実・強化を求める意見書を国に提出することを求める陳述書	採 択



6月定例会・7月臨時会で決まったこと!

審議された主な議案

■議案第34号

◆辺地に係る公共的施設の総合整備計画の策定について

- ・辺地名：松原・小坂辺地
- ・施設名：松原地区複合拠点（仮称）
- ・事業費：133,199千円

■議案第36号

◆財産の取得について

小型動力ポンプ積載車

- ・設置場所：津浪
- ・契約方法：指名競争入札
- ・取得価格：9,812,000円
- ・契約の相手方：安芸太田町穴 児玉商会



ポンプ積載車（イメージ）



旧松原小学校跡地

■議案第37号

◆一般会計・歳入・歳出

歳入・歳出に120,620千円増額し、歳入歳出予算の総額を歳入歳出それぞれ9,463,140千円と定める。

【歳入の主なもの】

- ・国庫 11,765千円
- ・県費 3,996千円
- ・起債 102,300千円
- ・その他 100千円
- ・一般財源 2,459千円

【歳出の主なもの】

- ・人事異動に伴う人件費組替対応 12,902千円
- ・社会・生活基盤等整備事業（橋梁・町道） 113,030千円
- ・その他（主に派遣職員負担金の減） ▲5,312千円
- ・特別会計等予算補正額（主に人件費組替） ▲1,386千円

令和8年第5回臨時会 議案採決結果

第5回臨時会は令和8年7月13日に行われました。

議案番号	件 名	採 決
議案第43号	工事請負契約の締結について	全会一致
議案第44号	令和8年度安芸太田町一般会計補正予算（第3号）	//
議案第45号	令和8年度安芸太田町介護保険事業特別会計補正予算（第2号）	//

■議案第43号

◆工事請負契約の締結について

- ・契約目的：令和8年度町道船場来見線法面对策工事（O10工区）
- ・契約方法：一般競争入札
- ・契約金額：67,650,000円
- ・契約の相手方：安芸太田町大字坪野 株式会社三河建設

■議案第44号

◆一般会計補正予算（第3号）

歳入歳出予算の総額に歳入歳出それぞれ5,110千円を追加し、歳入歳出予算の総額を歳入歳出それぞれ9,468,250千円と定める。

【歳入の主なもの】

- ・国庫 9,323千円
- ・県費 ▲2,010千円
- ・一般財源 ▲2,203千円

【歳出の主なもの】

- ・在宅医療の効率化のためのデジタル化等モデル事業 5,110千円



小島 俊二 議員



笠井 清孝 議員

7人の議員が質問・提言

一般質問は、議員が町政全般について現状や方針を問うものです。1人当たりの持ち時間は、答弁を含めて60分です。6月定例会では、6月9日、10日の2日間7人の議員が質問を行いました。

番号	議員名	質問内容（抜粋）
1	宮本千春	●集会施設の地域への譲渡について ●加計商店街活性化事業について （ほか4問）
2	小島俊二	●筒賀拠点施設整備事業について ●サイクリング・MTB関連事業の将来的な財政負担と持続可能性について （ほか1問）
3	笠井清孝	●集落支援員について ●安芸太田町の鳥獣害被害対策について （ほか1問）
4	佐々木道則	●太陽光発電施設の管理について ●地域づくり事業について （ほか1問）
5	大江昭典	●教育施設について ●サイクルツーリズム推進事業について （ほか1問）
6	影井伊久美	●地域の水道組合について ●道の駅再整備後の運営について
7	大江厚子	●防災対策の強化と地域防災体制について ●改憲論議・安全保障政策と地方自治について





宮本 千春 議員

問 住宅適地調査の評価視点は



こちらのQRコード
から中継映像もご覧
いただけます。

町長

費用面が一番で、町有地が
優位と考える

■集会施設の地元譲渡について

問 協議のスケジュールや譲渡条件の整理、地域間での不公平が生じないようにするための仕組みについて問う。

答 地域協働課長

「必要な修繕」、「譲渡後の維持管理費」、「譲渡の時期」等については、一定の基準を設けることとしています。諸条件等の整理が終わり次第、地元との協議を開始したいと考えているが、夏以降になろうかと考えているところです。

答 町長

各地域からの意見等については、役場内で共有するとともに、出来る限り対応に違いが生じる事のないよう進めたいと考えていますが、不公平がない形での支援の在り方について、検討しています。

■加計商店街活性化事業について

問 商店の維持自体が困難になっており、エリア全体の用途を見直す視点も必要ではないか。

答 副町長

社会環境の変化に応じた、柔軟な土地利用の検討も必要であると思いますが、その一方で、地域の賑わいやコミュニティを維持するためには、現状の商店街の活力低下に歯止めをかけることが優先課題であると認識しています。



「子どもから大人までによる
ピアノ発表会」
安野ふれあいセンター

集会施設の利用風景



「技能実習生との食事交流会」
つぼの地区交流センター

■住宅適地調査について

問 安く提供可能な土地という視点だけではなく、将来的な人口配置や生活利便性など、まちづくり全体の視点を踏まえた調査とすべきではないか。

答 町長

移住定住促進という観点から考えれば、まずは住宅の建築を検討される方の視点に立った検討が最重要と考えており、費用の問題は一番の課題と考えています。

この点、町有地は優位と考えている一方で、私有地については、例えば無償で提供しようというような話でもない限り、難しいのかなという印象を持っています。



筒賀拠点事業の中止か継続かの判断について問う

町長

P F I 方式による事業実施は見送る



こちらのQRコードから中継映像もご覧いただけます。



小島 俊二 議員

■筒賀拠点施設整備事業の方向性について

問 今後の筒賀拠点事業の事業方式や事業自体の中止か継続かの判断について問う。現時点で筒賀拠点事業のP F I 方式の成立可能性をどのように判断しているのか。また、応募者が1社のみの場合や、ゼロの場合の対応についてどのように考えているのかを問う。

答 町長

町としては改めてこの筒賀拠点整備事業については、P F I 方式による事業実施は見送ります。一方で、いわゆる従来型の公共事業として引き続き、進めていくということを前提に、今年度、整備内容や規模を検討し、令和9年度以降の事業着手を目指したいと考えています。



筒賀ふれあいプラザ



役場筒賀支所



旧JR筒賀駅跡地



旧JR筒賀駅跡地

■MTB（マウンテンバイク）事業について

問 本事業について、将来的な維持管理費をどの程度見込んでいるのか。

また、その財源をどのように考えているのかを問う。

答 参事

サイクリング・マウンテンバイク関連事業の将来的な財政負担と持続可能性について御質問をいただきました。本事業につきましては、今年度、マーケティングやニーズ調査等を踏まえた上で、基本構想を策定することとしております。

この中で、事業の規模感等を整理していきたいと考えているところでございます。また、維持管理につきましては、公設民営を基本としまして、運営の財源につきましては、町の負担がなるべく少なくなるようにしたいと考えているところでございます。



旧JR筒賀駅跡地



山道を駆けるマウンテンバイク(AI生成画像)

一般質問



笠井 清孝 議員

問

集落支援員の見える化・鳥獣害被害対策・観光産業の振興の現状と課題は



こちらのQRコードから中継映像もご覧いただけます。

町長

安芸太田町の課題解決に向けた取組みを推進させる

■集落支援員について

問 集落支援員の意見の反映はできているのか。

答 地域協働課長

地域支援員からの意見については、関係各課に共有するなど業務に活用しています。

◎笠井清孝議員

集落支援員の活動が見えにくいので、広報等で紹介して頂きたい。



集落支援員

■鳥獣害対策について

問 鳥獣害対策の現状、テゴスの導入における評価と課題、今後の具体的な対策について伺う。

答 産業観光課長

テゴスの支援による専門的な対応により、被害防止に努めていきたいと考えています。

答 町長

捕獲班もだんだん確保することが難しくなっている中で、どういう対応をすべきなのか、これから考えていかなければならないと思っております。

◎笠井清孝議員

道の駅も新しくなりますので、鳥獣害対策をして頂き、作物が確実に収穫できる環境を作って頂きたい。



鳥獣害対策 柵の設置(寺領)

■地域商社あきおおたについて

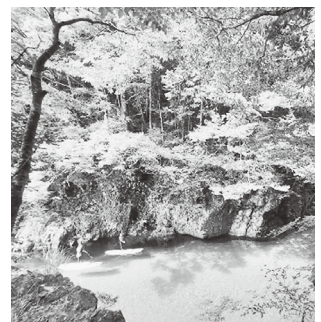
問 地域商社あきおおたの観光DMOでの取組みについて問う。

答 町長

現場の意見も広く聞きながら、地域商社あきおおたのほうでもしっかりと取り組んでいただき、稼げる観光振興を推進していきたい。

◎笠井清孝議員

観光地の実態を把握して、地域住民、地域業者、地域組織、行政と連携を深め、稼げる観光地にして頂けるよう強く要望いたします。



SUP (三段峡)

問 太陽光発電施設廃止後の対応について問う

町長

他自治体の事例を参考に、太陽光発電施設整備に特化した条例の必要性を含め、研究・調査していきたい



こちらのQRコードから中継映像もご覧いただけます。



佐々木道則 議員

問 適切に管理されていない、太陽光発電施設の対応について問う。

答 税務住民課長

現地確認を行い、適切な維持管理を業者に促してまいります。

問 太陽光発電施設整備設置に対する苦情等の相談について問う。

答 税務住民課長

令和6年4月1日に「安芸太田町開発行為の適正化に関する条例」施行後、1,000㎡以上の届け出件数は3件ありますが、苦情等の相談は現在のところは寄せられていません。

問 太陽光発電施設廃止後の対応について問う。

答 町長

他自治体の事例を参考に、太陽光発電施設整備特化条例の必要性を含めて研究・調査をしてまいります。



太陽光発電施設



雑草が繁茂している状況

問 地域づくり事業補助金制度の周知方法と補助金制度の今後について問う。

答 地域協働課長

毎年11月頃に自治振興会長に対し制度の案内、次年度の要望調査のほうを行っており、本事業の創設の目的を達成できるよう、自治振興会の御意見等も参考に、必要に応じて見直しを行い、運用していきたいと考えております。

問 町内中学校クラブ活動対外試合等の移動方法について問う。

答 教育課長

安全管理につきましては、各学校で危機管理マニュアルというのを作成しているが、今後も各学校の危機管理マニュアルをもう1回見直しをして、今の時代に合っているものなのかどうかということも、校長研修会等でしっかり見直しを図っていききたいと考えています。

一般質問



大江 昭典 議員

問

教育施設(学校教育施設・社会教育施設)における、施設の維持管理状況及び、安全環境・衛生環境の現状と改善施策について問う



こちらのQRコードから中継映像もご覧いただけます。

町長

現場の担当部局と、しっかり議論をさせていただきながら、取組みを進めていきたい。

問 教育施設(学校教育施設・社会教育施設)における、施設の維持管理状況及び、安全環境・衛生環境の現状と改善施策について問う。

答 教育次長

学校施設におきましては、建築基準法に基づく特定建築物定期調査を定められた時期に、一級建築士に業務を委託して実施をしております。その他に、空調設備、エレベーター、電気設備、キュービクル設備、消防防火設備等の保守点検を毎年行い、不具合等の確認をしており、不具合を確認でき次第、児童生徒の安全確保に係る案件を優先的に対応し、予算の確保をお願いしている状況です。

問 安全面に関しては、児童生徒が安心して、様々な学習活動に集中して取り組む上で、最も重要な事の一つだと考えている。さらに、一般的に衛生環境の中でも1番大きいものが、トイレ環境改善と考える。文科省がトイレ改善を推奨する中で、文科省公表数字として、小中学校の洋便器率、全国68.3%、広島県63.9%、町内においては、50%前後であると思っている。

洋式化、乾式化による児童生徒への与える影響として、トイレが綺麗になったことで「児童生徒の健康状態がよかった。体調不良と訴える生徒が減った。」との健康改善を評価する文科省統計も出ている。施設衛生環境を含めて、学校教育と考えられるが、トイレの早急な改修について、所感を求める。

答 教育長

トイレの問題点が、非常に学校教育に大きな影響を与えるものです。近年では、湿式のトイレから乾式の洋式トイレに切り替えることで、子どもたちの学習効果も、非常に高まっているところ です。

その辺のところを踏まえて、予算の事も、鋭意努力してまいりたいと思います。

答 町長

現場の担当部局と、しっかり議論をさせていただきながら、取組みを進めていきたいと思っています。





生活用水取水施設整備事業の補助率再検討が必要では

町長

受益者負担の考え方をもう少し整理させていただきたい



こちらのQRコードから中継映像もご覧いただけます。



影井伊久美 議員

■地域の水道組合について

問 人手不足や高齢化・施設設備の老朽化・給水人口の減少を踏まえると、将来にわたって地域単独で存続していけるとお考えか？

答 町長

これまで主体的に管理をされてこられたが、地域によって管理・運営していくのが難しくなっていくとは感じています。今後どのように対応していくかは、これまた各地域で主体的に考えておられるのではないかと考えています。

しかし、地域の財産として守られてきた流れがあるとはいえ、社会情勢も大きく変化し、公的な部分についての役割が大きくなる中、地域の状況を踏まえると、まずは管理者の皆様方とお話をしていくタイミングにきていると思っています。



■道の駅再整備事業後の運営について

問 年間来場者数100万人、売上6億円という大きな目標が掲げられている。この目標を達成するための具体的なビジョン、その種まきはいつ頃から、どのように行うのか？

答 副町長

オープン後は定期的なイベント開催を予定しており、開業まで2年という危機感をもって、関係団体との調整や戦略を策定しているところです。PRに関しても、オープン後ではなく1・2年前から周知できるよう、できれば今年度中にはホームページ等の情報発信ツールを立ち上げたいと、準備を進めています。

問 住民一人ひとりが主体的に関わりたくなるような雰囲気づくりや意識の醸成についても、いち早く種まきが必要ではないか？運営協議会設置のお考えはあるか？

答 町長

運営協議会という形が良いのかどうかは、これから検討させていただきながら、どうすれば特定の方々だけでなく町民全体の声を受け止め、運営に反映させるかも併せて検討しようと思います。



新 道の駅 イメージ図



大江 厚子 議員

問

地域医療・福祉と防災体制について



こちらのQRコード
から中継映像もご覧
いただけます。

町長

行政、病院、介護施設、交通事業者等と連携

問 避難所、福祉避難所について問う。

答 総務課長 指定避難所は3か所で、最低限の生活必需品、段ボールベッド、簡易トイレ等の備蓄を進めています。また広域避難所1か所と地域の自主避難所を設定しています。

答 健康福祉課長 福祉避難所については、特別養護老人ホーム2か所、老人保健施設1か所と協定を締結しています。

問 地域医療介護を含めた本町の災害対応体制はいかがか。

答 病院事業管理者 入院患者の安全確保、通院患者や在宅療養者への支援、オンライン診療の活用、救急医療体制の維持・確保など、地域医療提供に全力で取り組みます。今後は行政、介護施設、交通事業者等と連携し、実践的な合同訓練を行う事で地域一体の防災体制の強化に努めます。

答 健康福祉課長 要支援者の個別避難計画の作成・福祉と医療の連携・保健師活動を柱に、「誰1人取り残さない防災」を推進します。

答 企画DX課長 災害による通行止め発生時には、交通事業者と連携し交通手段の確保に努めます。

問 配慮を必要とする人々の声を防災施策に反映する仕組みについてはどうか。

答 総務課長 そうした方々の状況把握について検討していきます。



■改憲と自治体の役割について

問 憲法に緊急事態条項を創設し、緊急時に国へ権限を集中させることについて、地方自治や住民生活への影響をどのように認識しているか。

答 町長 最優先すべきは町民の安全であり、緊急事態条項の必要性については一定の理解をしています。一方で、現場の状況を把握している市町村の判断が尊重されるべき部分もあると考えております。

問 憲法9条第2項の削除及び自衛隊明記について伺う。地方自治体は、自衛隊募集事務や国民保護計画の策定などに関わる立場にあり、改憲論議と無関係ではないと考えるが認識を問う。

答 町長 地方自治に直接関わる問題だとは思っており、意見を申し述べる立場にはないと認識しています。

問 本町は非核宣言自治体であり、全国の自治体の約93%が非核宣言を行っている。これは、反戦や核兵器廃絶は自治体が主体的に取り組むべき課題であることを示している。本年の戦没者追悼平和祈念式典における町長のメッセージについて伺う。

答 町長 もうしばらく考えていきます。

特集 川辺川ダム・阿蘇立野ダム視察

令和8年6月18日・19日にダム対策調査特別委員会(全議員)で、熊本県の阿蘇立野ダム(南阿蘇村)・川辺川ダム建設予定地(五木村)を視察しました。

～視察で見た二つの地域づくり～

2024年2月に完成し同年4月から運用されている南阿蘇村「阿蘇立野ダム」では、建設に至るまでの経緯や完成後の取り組み状況、2035年度完成予定である五木村「川辺川ダム建設予定地」では、ダム建設計画発表から58年という長い歴史や現在の取り組み状況など。

また、それぞれ異なる地域の特性に応じた、環境保全や地域振興について伺いました。

◆阿蘇立野ダム◆

熊本市と阿蘇市を結ぶ交通の要所に位置する立地を活かし、交流館や広場、展望施設を整備するなど、「ダムそのものを観光資源」として活用する取り組みが進められていました。

また、河川空間の利用拡大も図られ、防災施設と地域活性化を両立させる考え方が印象的でした。



地元自治体「南阿蘇村」との地域振興等意見交換会

◆川辺川ダム◆

ダムの上流域に村の中心部が位置し、村全域がダム事業の影響を受けます。そのため、地域振興も村全体を対象として検討されていました。

また、生態系への配慮として、アユの餌となる付着藻類を維持するため、一定流量までは洪水調節を行わない運用や、土砂の流れや魚類の移動に配慮した構造など、自然環境を守る工夫が随所に取り入れられていました。



地元自治体「五木村」との地域振興等意見交換会

～安芸太田町では何を考えるべきか～

今こそ町全体のビジョンづくりを！

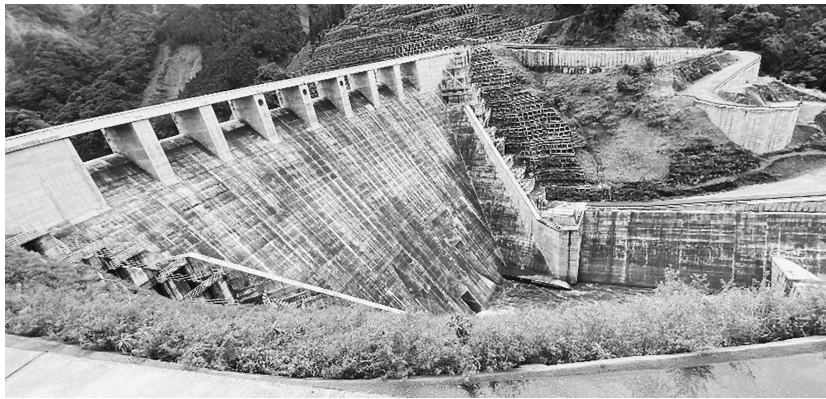
ダム建設は単なる公共事業ではなく、地域の将来を考える契機になっているということです。

重要なのは、先進地の事例をそのまま取り入れることなく、安芸太田町の地域特性に合った環境保全や地域振興を考えることです。

「ダム周辺」をどこまで捉えるのか、どのような環境を次世代へ引き継ぐのか、そしてダム建設を町の発展にどう結び付けていくのか。

こうした視点を町の総合計画や将来ビジョンにも位置付け、行政だけでなく住民も交えながら議論を深めていくことが、今後ますます重要になると感じました。

特集 川辺川ダム・阿蘇立野ダム視察



阿蘇立野ダム（流水式ダム 下流側）



阿蘇立野ダム（上流側）

本町のダム事業実施後に浸水被害が軽減される主な地域は、太田川下流部である広島市とされています。

本町はもちろん、流域住民の命や暮らしを守るための洪水調節機能の向上が重要であり、国が進める流域治水の強化や広島市の水源安定化の観点からも、本町における吉和郷ダム（仮称）構想が現実味を帯びつつあります。

それに伴い、ダムを前提としたまちづくりの基本となる「地域振興計画」策定や「流域市町との連携」に取り掛かる時期にきています。

引き続き、ダム対策調査特別委員会では調査・研究を行ってまいります。

「吉和郷ダム（仮称）事業による被害軽減効果」

（国土交通省）

	実施前	実施後
浸水世帯数	27,331世帯	235世帯
浸水面積	1,191ha	185ha
被害総額	9,073億円	142億円



ダム対策調査特別委員長
津田 宏



阿蘇立野ダムを視察



川辺川ダム 建設予定地



国土交通省 川辺川ダム大型模型実験施設

令和8年3月定例会報告（予算）と意見交換を3会場で開催しました。

今年の参加者数は6名減となり、課題である参加者の増加ができず日程等を含めて再度検討する必要があると感じています。

広報広聴調査特別委員会では、次回開催に向け「参加しやすい環境づくり」や時間帯について協議を重ねています。

皆様方のご意見をお寄せいただくと幸いです。



各会場の開催状況、主な意見交換については以下の通りです。

■報告会開催状況	4月24日(金) 18:00～	筒賀福祉センター	参加者 13人
	4月25日(土) 10:00～	役場東館2F	参加者 8人
	// 14:00～	太田川交流館かけはし	参加者 6人

町民の皆様からの主な質問・意見

■筒賀会場

- 加計インターチェンジのフル化に伴う地域振興の考えは？
- 道の駅の再整備事業の木材利用など、地域に十分説明して欲しい。
- 非核三原則堅持の意見書についての各議員の考えについては？



筒賀福祉センター



役場東館2階

■戸河内会場

- 協力隊の採用条件の協議が必要では？
- 道の駅の運営協議会の設立が必要ではないか？
- 加計スマートインター駐車場の街灯がなく暗くて困っている。
- 病院の診察予約をオンラインでもできるようにして欲しい。

■加計会場

- 予算規模は適正と考えるか？
- 基金の適正金額をどう考えるか？
- 財源構成を分かり易く示して欲しい。
- 地域コミュニティを支援して欲しい。



太田川交流館かけはし

※皆様からの貴重なご意見は、各委員会などで協議して参ります！

全国では町村議会議員の「なり手不足」が深刻化しています

町議会議員選挙が終わり、1年を経過しました、任期も後3年です。次に向けて、少しでも多くの方にその気になってもらうため、「議員になるためには!」を掲載します。

イメージしやすいように、条件や準備するもの、選挙までの流れなど、ピックアップしてみました。

安芸太田町議会議員になるには・・・

議員になるには、選挙に立候補して当選しないといけません。選挙に出るためには条件があります。



令和7年 当選証書授与式

条件

- ・日本国民で25歳以上
- ・安芸太田町の選挙権を持っていること
(引き続き3か月以上安芸太田町に住所のある者)



絶対に必要なお金

供託金 15万円

※当選もしくは一定票以上の結果を残した場合には供託金はすべて返還されます。

選挙でよく使われているもの

- 選挙カー
- 選挙事務所看板
- 選挙事務所
- 選挙ポスター
- 選挙タスキ・手袋
- 選挙ハガキ
- スタッフジャンパー

選挙費用を見積もってみると!

※供託金以外は、候補者の任意です。

準備物	金額(円)	公費負担(円)	個人負担(円)
選挙カーレンタル代	230,000	79,000	151,000
選挙カーガソリン代	15,000	13,000	2,000
選挙カー運転手報酬	100,000	100,000	0
車上運動員報酬	100,000	—	100,000
ポスター製作費	130,000	120,000	10,000
弁当・茶菓子代金	116,000	—	116,000
その他	30,000	—	30,000
合計額	721,000	312,000	409,000



立候補者の使ったお金

※安芸太田町の前回選挙(令和7年)で立候補した候補者の使ったお金です。

選挙費用額	人数	備考
10万円～20万円	1人	・選挙日 令和7年3月30日 - 立候補者数 12人 当選人11人 ・平均選挙費用額 - 費用合計(6,520,206) ÷ 12人 = 543,350円 ・公費負担有り (選挙ポスター、選挙カー、選挙ビラ、運転手報酬等)
20万円～30万円	2人	
30万円～40万円	1人	
50万円～60万円	4人	
60万円～70万円	2人	
90万円～100万円	2人	

総務常任委員会

委員会開催 5月15日

陳情調査

継続 陳情第4号

「訪問介護サービスを保障すること
を求める陳情書」

委員会開催 6月11日
所管事務調査

訪問介護サービスを保障すること
を求める陳情書に関連して、健康
福祉課所管事務調査を実施。

陳情審査

継続 陳情第4号

「訪問介護サービスを保障するこ
とを求める陳情書」

●審査結果…継続審査

新規 陳情第6号

「公立中学校における平和教育及
び校外学習の政治的中立性と安全
確保を求める陳情」

●審査結果…継続審査

新規 陳情第7号

「東京都新宿区や全国自治体で顕
在化した事例を受けて、政党機関
紙の庁舎内勧誘行為における庁舎
管理規則の徹底と早期の実態把握
を求める陳情」

●審査結果…継続審査

新規 陳情第8号

「地方財政の充実強化を求める意
見書を国に提出することを求める陳
情書」

●審査結果…採択



総務常任委員会



産業建設常任委員会

産業建設常任委員会

委員会開催 6月12日

陳情審査

継続 令和7年陳情第14号

「免税軽油制度の継続について」
●審査結果…継続審査

委員会開催 7月3日

所管事務調査

- ・町営住宅の設置状況について
- ・田吹川の階段設置要望について
(建設課)
- ・広島県令和8年度建設事業計画に
ついて(広島県西部建設事務所安
芸太田支所)

地方創生調査特別委員会

委員会開催 4月17日

道の駅再整備事業

工事説明会の開催状況の説明と報
告 (道の駅推進チーム)

委員会開催 6月11日

道の駅再整備事業

募集店舗概要・募集説明会の開催
状況の説明と報告 (道の駅推進チーム)

簡賀拠点施設整備事業

進捗状況・今後の進め方について
の説明と報告 (簡賀支所)

議会改革調査特別委員会

委員会開催 6月11日

- ・議員報酬・議員定数等の協議に向
けての取り組みについて
- ・議会中継について

災害対策調査特別委員会

委員会開催 6月11日

- ・坂原地区の広域避難について
- ・林野火災注意報、林野火災警報の
運用について
- ・新たな「防災気象情報」の運用に
ついて (危機管理室)

訂正とお詫び

【もりみんだより第81号】

(前回発行)

5ページ並びに7ページ小規模
林業支援を誤って小規模農業者活
性化支援と表記していました。
7ページに小規模林業者を誤っ
て小規模農業者と表記していまし
た。

22ページ下表部に棄権を誤って
議決権放棄と表記していました。
訂正してお詫び申し上げます。

編集後記

議会では、皆さんの暮らし
や町の将来に関わるさまざま
な課題について議論を重ねて
います。

「もりみんだより」が町政
や議会をより身近に感じてい
ただききっかけになれば幸い
です。

これから暑い日が続きます。
熱中症などには十分気をつ
けいただき、どうぞ健やかな
夏をお過ごしください。

影井 伊久美

◆広報・広聴調査特別委員会

委員長 影井伊久美
副委員長 宮本 千春
委員 笠井 清孝
大 江 昭典
小 島 俊二